

## 2. 材料リサイクル事業者の現状 “利用製品の用途拡大①”

開発中の利用用途も含めて、利用用途は拡大しつつある

成形方法	インフレーション成形	シート成形	ブロー成形
製品名	ポリ袋(ごみ収集袋)	建築資材、看板、養生材	自動車部品
写真			

9

## 2. 材料リサイクル事業者の現状 “利用製品の用途拡大②”

開発中の利用用途も含めて、利用用途は拡大しつつある

成形方法	射出成形	プレス成形	押出成形
製品名	雨水貯留槽、パレット、 ペール缶、屋上緑化用 資材、日用雑貨	パレット、管路材、農業用資材 プラボード	ウッドデッキ、排水管
写真			

10



## 2. 材料リサイクル事業者の現状 “再商品化工程中の環境負荷”

### ■環境負荷の課題

- ・電力・水の用役使用量  
→地域性、処理能力等で異なるが、大きな部分を占めている
- ・稼働率の低下  
→設計値に比べて、稼働率が低く、環境負荷が大きくなる
- ・再商品化製品利用製品のリサイクル効果が低い

### ■環境負荷の改善

- ・用役使用の削減  
→ベール品質の向上(汚れ・異物量削減)
- ・稼働率の向上  
→ベール回収量の向上(落札可能量の向上)
- ・再商品化製品利用製品の高品質化  
→ベール品質の向上(塩ビの削減・異物の削減)

◆ベール品質向上により:再商品化工程の環境負荷の改善が可能

11

## 2. 材料リサイクル事業者の現状 “コスト構造”

### ■コスト構造

- ・固定費が大きいため、落札量によって、コスト構造は、変化する。
- ・落札可能量の減少により、ベール1kg当たりの処理コストは増加する。

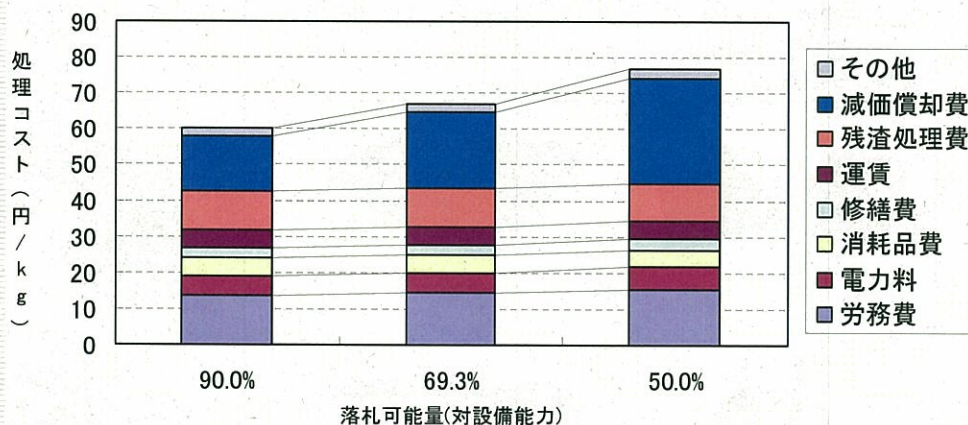


図 落札可能量別の処理コスト例

◆ベール品質向上により:手選別人員の削減などのコスト削減が可能に

12